

現場ごとの作業計画

— 駅清掃(臨時)に於ける作業の効率化と安全性の向上 —

夏の行楽シーズンを前に臨時清掃を行うことが増えてきます。臨時清掃はスーパーマーケットや商業施設などの定期清掃とは、また違った諸条件を持ち合わせていることがあります。駅構内の清掃もそんなひとつです。



駅の清掃は作業可能な時間に限りがあります。終電後の構内に利用者が居なくなってから、駅員の方が始発の準備に取り掛かるまでのおよそ3時間が原則です。

そこでいかに効率よく進め、なおかつ安全への配慮を怠りなく作業を行うかが重要となります。そのためにはしっかりした作業計画を立てて臨まなくてはなりません。

詳細な作業計画書の作成

1. 使用する資機材・資材		4. 人員の配属と作業スケジュール	
1. 作業内容	作業方法	作業時間	作業場所
2. 作業手順	作業順序	作業時間	作業場所
3. 安全対策	安全対策	作業時間	作業場所

作業可能な時間の精査

- 時刻表からの割り出し
- 駅利用者がゼロ人になる時間の想定

必要な資機材や洗剤などの選択

- 使える電源の数の確認と導線のプランニング
- 成分などから駅清掃に適したものかをセレクト

作業場所ごとの人員の割振り

- 短時間の清掃となるため適材適所に振り分け

安全に関するKYの洗い出し

- 駅利用者による突発的なアクシデントまで想定

使う資機材の点検と事前ミーティング

- 作業担当者からの意見や考えを取り入れる

作業計画のシミュレーション

- 無理はないか？



京王線A駅の清掃(床洗浄清掃)



構内は、終電後も常時通行可能なため作業範囲を区切って対応



京王線B駅の清掃(ガラス清掃)



駅を利用するお客さまに作業中であることがしっかり伝わるように



高所作業での安全帽の着用



高所作業時の補助員の設置

クリーンビジネスでは現場ごとの作業へのアプローチと安全への配慮を
考えつづけることで、お客さまとの安全・安心の関係を築いています。